

一般社団法人日本子育て支援協会
講師
岩本久実子氏



ウェルカムベビー
マインドの向上へ

“お子さまウェルカムな取り組みを”と頭では理解をしていますが実際に戸惑いを感じている現場スタッフもいることかと思えます。

パパママ・キッズ婚プランナー養成講座受講者の中にも「もともと子どもが好きです!」という方もいれば「身近に子どもがいなく、どう接してよいか分からない・・・」という方も。

まずは子どもが身近な存在となるような工夫・努力を施

これからのウェルカムベビー、パパママ・キッズ婚への取り組みとは

設内で行っていくこともウェルカムベビーへの第1歩ではないでしょうか。例えば、

『ファミリーデーの実施』

従業員のお子さまを施設内へ招待し、パパママの職場見学や親睦会の実施を。子どもがいない従業員にとっても子どもと触れ合う機会であり、スタッフの子どもたちが身内の子のような存在にもなります。また子どもにとっても子ども同士の交流やパパママの職場の大人との交流ができ、新しい世界が広がる良い機会です。

『ママさんスタッフからアイデアや生の声を聞く』

館内で子どもに危険な場所はないか?館内で子連れにあったら嬉しいものは?子連れでのお出かけの現状は?今の子育て事情は?など、現役で子育て中のママさんスタッフ

から生の声を聞き、取り込んでいくことにより、お子さまウェルカムのレベルアップとなり、一方で子育て経験のないスタッフの学びの場となります。

また、ママさんスタッフにとっても自分の経験が生かされることは喜びであり、モチベーションアップにもなるでしょう。

このように子どもやママさんスタッフをうまく巻き込み、子育て経験のないスタッフと共有していくことで、施設全体のマインドの向上へとつながります。

最後に、パパママ・キッズ婚を実際に挙げたファミリーの声のご紹介を。挙げてよかったことのリサーチをしたところ、「家族のお披露目できた」などグラフのような結果になりました。

また、フリーコメントでは「結婚式のアルバムに子どもと一緒に写っていること」

「普通の式よりも何倍も幸せなんじゃないかと思った!」

「親への伝えられなかった感謝を、子を持つことでより実感をもって伝えられた」など。

「挙げてよかった!」「みんながHappy!」という趣旨のコメントが数多く寄せられました。(ミキハウス子育て総研(株)「パパママ・キッズ婚に関するアンケート」より)

この声を励みに、ぜひブライダル業界、結婚式場側の対応として、ウェルカムベビー、ウェルカムキッズのマインドを向上させ、受け入れ体制の整備を行っていきましょう。

そして1組でも多くのファミリーがパパママ・キッズ婚を挙げられ、また子連れで参列する機会が増えることで、結婚式という存在が子どもの憧れとなり、ウェディング業界の明るい未来へとつながるのではないかと思います。

Q. パパママ・キッズ婚を挙げてよかったことは何ですか? (複数可)



Weekly ゴーゴーリサーチ(特別編)「パパママ・キッズ婚に関するアンケート」(2014年7月)より